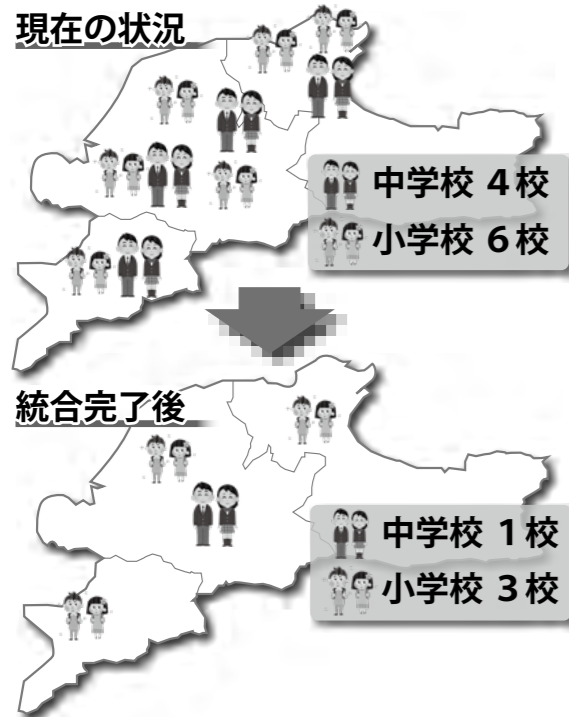


今後の小中学校統合の進め方（基本計画内より抜粋）



| | | | |
|------|------|--------------------|--|
| 中学校 | 全地区 | 統合対象 | 町内すべての中学校 |
| | | 利用校舎 | 市川中校舎 |
| | | 開校時期 | 令和11年4月 |
| 市川地区 | 市川地区 | 統合対象 | 市川、市川南、市川東 |
| | | 利用校舎 | 市川小校舎 |
| | | 開校時期 | 令和14年4月 |
| 三珠地区 | 三珠地区 | 統合対象 | 大塚、上野 |
| | | 利用校舎 | 上野小校舎または三珠中校舎を新校舎予定地として、改築または改修のいずれかの整備を検討 |
| | | 開校時期 | 令和17年4月 |
| 六郷地区 | 六郷地区 | 地域性・通学距離を考慮し、統合対象外 | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|--------------|------------|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--|--|--|--|--|--|--|
| 今後のスケジュール（予定） | 中学校 | 実施計画の検討・作成 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | （市川地区） | 設計・改修工事 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 開校準備委員会 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 閉校準備委員会 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| （三珠地区） | 設計・改修工事 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 開校準備委員会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 閉校準備委員会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小学校 | 設計・改修工事 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| （市川地区） | 開校準備委員会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 閉校準備委員会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 新設校開校（R14年度） | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| （三珠地区） | 設計・改修工事 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 開校準備委員会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 閉校準備委員会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小学校 | 設計・改修工事 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| （三珠地区） | 開校準備委員会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 閉校準備委員会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 新設校開校（R17年度） | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 閉校する校舎の利活用などの検討 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計画年度 | | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | R15 | R16 | R17 | R18 | | | | | | | |

今後の小中学校の配置や地域活性化の指針となる計画です

紙面では、本計画策定までの経緯、今後の小中学校統合の進め方について、計画全体の内容は、町ホームページに掲載しています。



本町は、平成17年10月の合併以降、人口減少対策としてさまざまな事業を実施してきました。全国的にも人口減少問題が課題であるなか、峡南地域内における本町の人口減少率の推移は比較的ゆるやかで、県内町村の中では『住みやすいまち』として認知されていることから、これまでの取り組みにより、一定の効果が得られているといえます。

しかしながら、少子化の歯止めまでには至っておらず、出生数も年々減少傾向にあることから、将来における町立小中学校の望ましい教育環境の確保と質の高い学校教育の維持・向上について、教育委員会に対し検討を要請しました。

町教育委員会では、市川三郷町立小中学校適正規模・配置等検討委員会からの答申を受け、協議・検討を重ね、教育委員会としての基本計画を策定しました。

これを踏まえ町では、当該基本計画を柱として、協議を重ねるとともに、住民説明会を開催し、町民の皆さまから幅広くご意見を伺う中で、本町における小中学校の適正規模及び適正配置並びに地域の活性化を見据えた方針として、「市川三郷町立小中学校適正規模・配置等基本計画」を策定しました。

市川三郷町立小中学校 適正規模・配置等基本計画を策定しました

これまでの経緯

検討委員会の設置および実施（令和6年5月～）

全7回の検討委員会の中で、本町の小中学校児童・生徒数の現状や見込み、町内小学校5・6年生、中学生および保護者へのアンケート結果、町内6地区での地区説明会などをもとに、適正規模・配置等について検討を行いました。

検討委員会石原政至委員長から渡井渡教育長へ答申を提出（令和7年3月31日）

町教育委員会で基本計画の検討および策定（令和7年4月～）

検討委員会の答申を受け、町教育委員会で総合教育会議や町議会特別委員会の意見も踏まえながら、基本計画の検討および策定を行いました。

渡井渡教育長から遠藤浩町長へ計画を提出（令和7年9月22日）



町での計画の検討および町民説明会の実施



町教育委員会からの基本計画提出を受け、まちづくりの視点も加えた「市川三郷町立小中学校適正規模・配置等基本計画（案）」を作成し、令和7年12月19日から23日にかけて実施した住民説明会や庁内検討会を経て、策定しました。



財政非常事態宣言を解除しました

令和5年9月に「財政非常事態宣言」を发出し、町民の皆様様の御理解と御協力を賜りながら行財政改革を職員一丸となって推進してまいりました。

令和7年度収支を推計したところ、見込み概算ではありますが令和6年度決算と同様、実質単年度収支で黒字、経常収支比率も令和6年度決算と同水準の値が推計されました。

したがって、行財政改革推進計画アクションプランを令和7年度末の3月31日をもって終結し、財政非常事態宣言を解除いたします。

ただし、物価、人件費等の高騰など新たな経済情勢により引き続き厳しい状況であり、行財政改革推進計画アクションプランの残余事務および新たな課題については引き続き検討し取り組んでいくものとします。

今後は、持続可能なまちづくりに向け新しい地域経営を強力に推進し、力強い地域経済に支えられる安定した町財政との好循環システムを目指してまいります。

市川三郷町長 遠藤 浩





有料広告

地域密着型 買取専門店 /

おたからや 市川三郷店

金色・銀色していたら
それって価値のある物かも！
一度お持ち込みください



貴金属・ジュエリー

金・銀・プラチナ
金貨 インゴット
ダイヤモンド
ルビー・サファイア
エメラルドなど

ブランドバッグ ブランド時計

ヴィトン エルメス
シャネル セリーヌ
ロレックス オメガ
パテックフィリップ
オーデマピゲなど

骨董品

掛け軸 カメラ
香木 ブランド食器
ライター ジャンク時計
古銭 テレカなど

ご挨拶

身の回りにあるもので、使わなくなった金・貴金属やデザインの古くなったブランド品など、処分されようとしていた物が、本当は価値のある物だったりします。眠っているお宝がありませんか？『これ売れるかな？』と思ったら是非おたからや市川三郷店にお問い合わせ下さい！



店長
井戸 順子



おたからや市川三郷店

所在地 / 山梨県西八代郡

市川三郷町市川大門1384-1

定休日 / 不定休

営業時間

10:00~18:00

月 火 水 木 金 土 日

● ● ● ● ● ● ●

電話番号 / 0552-25-3032

山梨県公安委員会
471042022046号



有料広告



有料広告募集中！詳しくはこちら

暮らすまちが守るまちに

市川三郷町 消防団

火災や自然災害発生時に活躍する消防団。
自分の仕事と両立しながらも、地域の消防防災リーダーとして、
火災や大地震などの災害からみなさんの安心・安全を守ります。
町消防団では、一緒に地域の笑顔を守る団員を募集しています。



Q. どんな活動をしているの？

A. 市川三郷町消防団は、本部と地域ごとに分けられた12の分団、女性消防隊で構成されています。災害が発生した時にはいち早く駆けつけ、消防署と連携して消火活動や避難誘導、行方不明者の捜索などを行います。また、普段から訓練や機械器具の点検、防災力向上のための広報活動を行っています。



▲消火訓練



▲広報活動

令和8年度から 消防団員の報酬が 改定されます

国が定める基準額にあわせて条例改正を行い、団員報酬と出勤報酬の引き上げを行いました。

【団員報酬（年額）】

副分団長 45,000円▶50,000円(↑)
部長 30,000円▶42,000円(↑)
班長 20,000円▶39,000円(↑)
団員 17,000円▶36,500円(↑)

【出勤報酬】※1回あたり

災害（4時間以上）
4,000円▶8,000円(↑)

入団者随時募集中！

町内に在住または勤務している18歳以上の方ならどなたでも入団できます。女性・学生も大歓迎です。入団についてのご相談は、町防災交通課消防防災係までご連絡下さい。

サポートも充実

- 報酬制度** 階級に応じた年額報酬と活動に応じた出勤報酬が支払われます。
- 被服等貸与** 活動に必要な活動服などが貸与されます。
- 退職報償金制度** 一定の期間以上在籍した際には、退職時に退職報償金が支給されます。
- 公務災害補償** 活動中にケガなどをしてしまった場合、療養費が補償されます。
- 福祉共済** 消防団活動であるかを問わず、ケガや入院、障害や死亡時などに共済金を受け取れます。

市川三郷町消防団のPR動画を作成しました

市川三郷町消防団



団員募集



活動の様子や
団員たちからの
コメントも



町防災交通課消防防災係 ☎ 055-272-1175